

組合活動の原点は職場にあり

―職場の組合員の皆さんとの対話を大切に

Q1 まず古河電工労働組合千葉支部の成り立ちと現在の組合状況についてお聞きしたいと思います。

組合事務所



秋元 古河電工千葉事業所は昭和36年に立ち上がりましたが、それに併せて組合結成の動きがあり、準備委員会をつくり、同年6月1日に145人で組合結成大会を開き、古河連合の一員となりました。発足当時は、委員長、書記長、執行委員3名の5名体制で全員非専従での出発となりました。現在の組合員約940名、出向組合員を含めると組合員は約1200名です。現在の役員体制は、委員長、副委員長、書記長、執行委員5名の8名

体制と専従書記1名で活動を進めています。また、古河電工労働組合本部に1名千葉支部から役員を派遣しております。最盛期の組合員数は2000年頃で1800名ぐらいでしたが、その後構造改革や統廃合が進み、2002年から徐々に減少し、現在の人員となっております。

Q2 古河電工労働組合千葉支部の伝統の中で、大切にされているものは何ですか。

秋元 一言で言うと、組織の組合員の雇用や生活を大切にすることです。組合員だけでなく、家族も大切にするという姿勢で、職場を大切にしながら活動をすすめています。もともとこの千葉事業所は、横電・日光・本社から転勤して頂くとともに事業所採用の方々でこの千葉事業所を立ち上げた経緯からも、職場の人間関係と雇用を大切にすることを伝統としてきました。

Q3 古河電工労働組合千葉支部の主な活動の特徴について説明ください。

秋元 基本的には全電線本部や古河電工労働本部の方針に沿って活動を進めています。支部としては、労働条件の向上を基本に取り組んできましたが、今は、雇用と生活を守ることを一番大切にして取り組んでいます。これからも組合員と執行部との和を大切にして活動を進めていきたいと思っています。

Q4 現在、特に重点を置いている活動に

ついでお話しください。

秋元 いろいろな総合的生活改善に取り組んでいます。例えば、各層の懇談会や教育活動に力を入れています。昔は、定年前10年のセカンドライフセミナーだけでしたが、現在はミドルエイジセミナーや若年組合員セミナーも開催しています。また、退職を直前にしたセミナーも開催し、定年時の手続の仕方や定年後の生活について理解活動を進めています。また、ここ2、3年は時間管理の取組みにも力を入れていますが、昔は、労働時間短縮に力を入れていたが、最近はその間に含めて、労働時間管理、健康障害も含めて、労働組合としてのチェック機能を果たし、職場のコミュニケーションの充実に努めています。

Q5 現在、古河電工労働組合として抱えている課題および課題への取り組みについてお話しください。

秋元 千葉事業所は、組合員数が1500〜1700名のもので活動を進めてきましたが、ITバブル以降組合員数が半減していますので、雇用確保に重点を置いて取り組みを進めています。雇用をいかに守るか、それと所外への長期助勤に出ている組合員もいるので、その人たちにどうやって戻ってきてもらうのか、が課題です。それから、所採用の新人社員がここ3年入っていないので、ものづくり技術の継承をいかにして

いくかということも重要な課題と考えています。あと、家族も含めて組合員の雇用を守り、地域性を生かした活動をしていくことも大事な課題です。

ここ数年は企業業績が悪い中で、全社一丸となって「古河サバイバルプラン」にチャレンジしています。上司、同僚、部下とのコミュニケーションを大切にして、古河電工の発展をめざしています。組合としても、会社が発展していくことが組合員の雇用と生活を守ることになりますので、組合としてのチェック機能を果たしつつ、できることは全面的に協力していくというのが基本の姿勢です。

石橋書記長から見た委員長の印象

「秋元委員長はメリハリがあって、組合として会社側に言うべきことはしっかり言う姿勢にはいつも頭が下がります。私自身も、会社側との折衝の窓口として、組合として譲れない部分がありますので、例えば先ほどから話のあった労働時間の適正管理などについては、経営側もまだまだ甘い部分があり、長年しみついた企業風土もあり、すぐに変えることは難しいのですが、一步一步地道に改善していきたいと考えています。」



●古河電工労働組合千葉支部／執行委員長

秋元 正行

あきもと・まさゆき

2006年9月で組合歴17年を迎える。専従歴は15年。最初の2年間は非専従の支部教宣部長として広報紙等の作成に従事。その後、支部書記長を4年務めた後、全電線本部の中央執行委員として3年間派遣。その後もどって執行委員を1年務めた後、現在の支部委員長に就任して5年目。



組合員との対話を大切に（組合事務所）

Q6 最後に労働組合の活動を進める上で、ご自身のモットー、心がけていることがあれば教えてください。あなたにとって、労働組合の役割とは何だと考えますか？

秋元 私は委員長になって5年目になりました。「労働組合の原点は職場にある」と先輩からも常々教えられました。そのことを踏まえ、職場の組合員の皆さんとの対話を大切にしています。

労働組合の役割については、いろいろありますが、企業のチェック機能を果たすことと、組合員の生活を守ることが大切な役割と思っています。労働者の代表として我々労働組合が言わなければ誰が言うのかという気概で、組合員を守るためにこれからは会社側に言うべきことは言い続けて行きたいと思っています。

（聞き手：IMF・JC組織総務局 渡辺）